

シンポジウム等の概要について(事後報告)

- 1 名称:健康で長生きー未来社会を開くヘルステック・イノベーション
- 2 日本学術会議の主催者:第三部、九州・沖縄地区会議
- 3 その他の主催団体等:
 - ・主催:九州大学
 - ・後援:福岡県、福岡市、公益社団法人 高分子学会、
公益社団法人 日本化学会九州支部、日本 DDS 学会、
日本バイオマテリアル学会、公益財団法人日本学術協力財団
- 4 開催日時:令和2年8月6日(木) 13時~17時40分
- 5 開催場所:オンライン開催
- 6 開催趣旨:

来るべき高齢社会に、我々が健康に暮らすための新しい技術を生み出す「ヘルステック」は最も期待の高い技術分野である。現在のヘルステックは、データ解析、診断解析などIT技術が中心となっている。今般のコロナ対応の中でも、これら新技術の活用は世界各国で行われたが、個々人の権利への干渉や社会生活にも変容をもたらしかねない問題もはらんでいる。そのような中で、今後、新しい健康情報の取得技術、ヘルステック技術から解明される健康情報をもとに、健康な生活を維持できるための、人に優しい新しい技術が必要とされる。これからの社会を担う新しい価値の創造には、倫理面や幸福論まで踏まえた新しいヘルステック分野の創出が必要であろう。今後、真のイノベーションを生み出していくためには、産業界と学术界がより密接に連携できるような新しい基礎研究の方法論が必要となる。そこで、本シンポジウムでは、独自の研究成果を生み出している研究者や高齢社会を踏まえた価値創出に携わる研究者の講演を通して、これからのヘルステック研究は、何を生み出し、どうあるべきか、真の価値を生み出せる研究のあるべき姿を議論したい。
- 7 参加人数:
 - 講演者等:5名
 - その他の参加者:約300名(内、高校・高専生約80名)
- 8 特記事項:
 - 特になし